

みんなで考える 地域生活支援拠点



地域生活支援拠点って？

〔目的〕

障がいのある人が社会の障壁によって障がいのある状態になっている。

障がいがない人も共に支え合える地域を作るために、地域で困っている人を少しでも少なくしていくための組織づくりを目指していく。

障がいのある方の親なき後を見据えて、必要な社会資源を再確認していく。

障がいのある方が緊急時に困った時、スムーズに対応ができる体制を作る。

また、緊急時の対応ばかりにならないように、体験の機会を設けて、

障がいのある人が自分の思いを実現できる社会を作っていく。

地域生活支援拠点って？（２つの役割があります）

- （１）緊急時の相談や短期入所の受け入れ体制を整備することにより、地域における生活の安心感を担保する機能を備えること
- （２）入所施設や病院、親元からのグループホームや一人暮らし等への生活の場の移行をしやすい支援を提供する体制の整備

地域生活支援拠点に必要な5つの機能

地域生活支援拠点に必要な5つの機能

①相談

基幹相談支援センターや相談支援事業所等に拠点コーディネーターを配置し、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録するなどした上で、常時の連絡体制を確保する。

地域生活支援拠点に必要な5つの機能

②緊急時の受け入れ・対応

短期入所等を活用した常時の緊急受け入れ体制等を確保した上で、介護者の急病や状態変化の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う機能

地域生活支援拠点に必要な5つの機能

③体験の機会・場

地域移行支援や親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障がい福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能



地域生活支援拠点に必要な5つの機能

④専門的人材の確保・養成

医療的ケアが必要な方や行動障がいをもつ方、高齢化に伴い重度化した障がい者等に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や人材の養成を行う機能

地域生活支援拠点に必要な5つの機能

⑤地域の体制づくり

基幹相談支援センターや相談支援事業所等に配属された拠点コーディネーターが中心となって、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能

整備・運営の方法

整備・運営の方法（パターン1）

地域生活支援拠点等の整備例①（多機能拠点整備型）

パターン①：居住支援のための機能を一つの拠点に集約し、地域の障害者を支援。



整備・運営の方法（パターン2）

本町はこちらで
検討したい

地域生活支援拠点等の整備例②（面的整備型）

パターン②：地域において、居住支援のための機能を持つ事業所が連携し、地域の障害者を支援。



先ずは面的整備町内の事業所に対して事業内容を説明

【計画相談支援事業所】

ひまわり学園真美ヶ丘自立訓練校

相談支援センター ふわら

【通所・入所系事業所】

リバティーほっかつ スマイル（グループホーム）

もりの実（生活介護）

夢スペースかぐや（就労継続支援B型）

【居宅介護系事業所】

在宅介護センター奈良

ケアセンター千の恵

今後について

本当に使えるものを
皆んなで作っていく

3月下旬から4月上旬にかけて、前向きなご回答をいただいた事業所を対象と再度「座談会」を行い、最終の意思確認を行い、「プロジェクトチーム」を発足する。

「プロジェクトチーム」では事業を開始するにあたって考え得る課題を出し合い、検証していく。

⇒令和7年度中の稼働を目指す！